対象カテゴリ一覧

製品カテゴリ名	券売機	自動精算機	自動チェックイン機	スチームコンベクションオーブン	無人搬送車（AGV・AMR）
製品カテゴリ定義	券売機とは注文受付、券類の発行、支払・決済業務を自動的に行う機器と定義する。	自動精算機は、主に商品販売時及びサービス提供時における支払・精算対応又はつり銭等現金の受け渡しを自動的に行う機器と定義する。	自動チェックイン機は次の機能を有する製品と定義する。 予約管理機能/チェックイン機能/精算・会計機能、上記機能に加え、省力化に資する観点から次の機能を具備するものが望ましい。 チェックアウト機能/カードキー発行機能	スチームコンベクションオーブンとは、コンベクションオーブン（ファンにより熱風を強制対流させるオーブン）に、蒸気発生装置を取り付け、熱風、水蒸気、熱風＋水蒸気を利用し、焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなど多様な加熱調理を１台で担うことができる調理機器のこと。 また、プログラム機能を持ち、料理、食材ごとの加熱時間、温度等を登録でき、使用する人間を問わず調理品質を保つことができる。	自動で走行する車両または台車で、もの（パレット､ケース、台車など）を移載やけん引できる機能を有する。 位置の認識やルートについては、機器に組み込まれたマップ、決められた位置情報やルートに基づき、自動で移動が可能なもの。 ※税法上の機械設備又は器具備品であるものが対象となる。
対象業種	飲食サービス業	飲食サービス業、小売業	宿泊業	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業	製造業、倉庫業、卸売業、小売業
対象業務領域	注文受付、請求・支払、顧客対応	注文受付、請求・支払、顧客対応	受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応	調理、加工・生産	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫
置き換え対象となる機能・性能	①多言語対応機能 ②キャッシュレス決済機能 ③厨房との連携機能（モニター連携機能・キッチンプリンタ等）	―	―	①自動洗浄機能 ②ファン調整機能（スピード・回転） ③複数調理機能	―
審査担当工業会名	一般社団法人日本自動販売システム機械工業会	一般社団法人日本自動販売システム機械工業会	一般社団法人日本自動販売システム機械工業会	一般社団法人日本厨房工業会	一般社団法人日本物流システム機器協会
連絡先(Mail)	shoryokuka@jvma.or.jp	shoryokuka@jvma.or.jp	shoryokuka@jvma.or.jp	stouroku@jfea.or.jp	p-registration@jimh.or.jp

製品カテゴリ名	検品・仕分システム	自動倉庫	清掃ロボット	配膳ロボット	タブレット型給油許可システム
製品カテゴリ定義	多くのものを、ある目的で仕分けるためには、そのものを認識し、仕分けのための情報を得なければならない。 そのために、ものの検品が必要であり、それによって、目的に沿って仕分けることになる。検品と仕分けが一体で完成するシステムである。	パレットやケース、コンテナを自動的に入出庫・保管できる倉庫。 保管する棚、出し入れする機械、前後の荷受け・荷渡し装置で構成。コントロール、管理するシステムも含む。	各種センサにより人や障害物を回避しながら自律走行で床を清掃（湿式、乾式等）するロボット。	各種センサにより人や障害物を回避しながら自律走行により料理や飲み物等（導入する業種によっては、物資・部品や梱包物等）を人に代わって配膳するロボット。	セルフ式ガソリンスタンド（顧客自らが給油するガソリンスタンド。以下、セルフＳＳ）において、来店客に対して行う給油許可行為をＳＳ事務所内システム（固定式）とタブレット型システムを連動させることにより、タブレット型給油許可システムを用いて、事務所内に限らずＳＳ敷地内であれば給油を許可することが可能となるシステム。
対象業種	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、小売業、 その他の事業サービス業、娯楽業	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業	小売業
対象業務領域	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	保管・在庫管理、入出庫	清掃業務	配膳業務、搬送業務	給油
置き換え対象となる機能・性能	―	―	―	―	―
審査担当工業会名	一般社団法人日本物流システム機器協会	一般社団法人日本物流システム機器協会	一般社団法人日本ロボット工業会	一般社団法人日本ロボット工業会	一般社団法人日本計量機器工業連合会
連絡先(Mail)	p-registration@jimh.or.jp	p-registration@jimh.or.jp	katarogu@jara.jp	katarogu@jara.jp	shinsei@keikoren.or.jp

製品カテゴリ名	オートラベラー	飲料補充ロボット	デジタル紙面色校正装置 （グラビア・紙器パッケージ用デジタルプルーフ）	測量機 （自動視準・自動追尾機能付き高機能トータルステーション）	丁合機
製品カテゴリ定義	製品、製品パッケージ、またはパッケージ資材に粘着ラベル（シール）を自動的に貼り付ける装置。	小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を行うロボット。	グラビア・紙器パッケージ用デジタルプルーフは、グラビア（食品包装パッケージ等のフィルム印刷）、商品箱等の紙器パッケージ印刷の色校正を行うための印刷装置です。	トータルステーション（水平角と鉛直角を計測する経緯儀に、測距機能が内蔵された測量機）のうち、ノンプリズム、モータードライブ、遠隔操作、自動視準、自動追尾などの省力化を実現する機能を有している測量機	書籍製本等で、印刷された紙を1冊の本になるようにページ順に集める装置で、チラシやカタログ、取扱説明書、帳票等の様々な用紙を高速でピッキングする事ができる。
対象業種	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	小売業	印刷・同関連業	建設業、専門・技術サービス業	製造業、倉庫業、卸売業，小売業
対象業務領域	加工・生産、梱包・加工、保管・在庫管理	飲料補充業務	印刷	調査・測量、施工、検査	加工・生産、梱包・加工、出荷、販売・納品
置き換え対象となる機能・性能	―	―	―	―	―
審査担当工業会名	一般社団法人日本包装機械工業会	一般社団法人日本ロボット工業会	一般社団法人日本印刷産業機械工業会	一般社団法人日本測量機器工業会	一般社団法人日本印刷産業機械工業会
連絡先(Mail)	hojyo@jpmma.or.jp	katarogu@jara.jp	shoryokuka@jpma-net.or.jp	shoryokuka@jsima.or.jp	shoryokuka@jpma-net.or.jp

対象カテゴリ一覧

製品カテゴリ名	印刷用紙高積装置	印刷用インキ自動計量装置	段ボール製箱機	近赤外線センサ式プラスチック材質選別機	デジタル加飾機
製品カテゴリ定義	印刷機にかけられる用紙サイズとしては、一般に880mm×625mm（A全）以上の用紙が主力として使用され、印刷作業者が専用パレットの上に「手を使って」１枚１枚精緻に積み上げ印刷機に給紙している。この人員作業を省力化し効率的に行う装置が自動紙積み機（印刷用紙高積装置）である。 紙積み作業は非常に重労働であり社員定着の大きな阻害要因となっている。 印刷用紙高積装置は、重労働な紙積み作業を機械の力で省力化し、作業負荷の軽減だけでなく社員の定着や生産性の向上に寄与するものである。	印刷に使用する特色（顧客から指定された色）インキ作成を行う装置で、そのために、標準的に市販されているインキ各色から、配合レシピ（複数の標準的な市販インキ各色の配合割合）に基づいたインキ必要量を自動的に計量し吐出する装置。	段ボールシートを加工して様々な箱を作る際に、従来はまず断裁機にて縦方向の断裁と罫線入れを行った後、横方向の断裁と罫線入れをしてから溝切機にて６ｍｍの溝を切る工程が必要である。これら一連の作業を１回の工程で執り行う事が可能な装置が「段ボール製箱機」である。	主に廃プラスチックで構成される混合廃棄物のリサイクルを効率化する目的に使用する機械であって、従来熟練作業員の目視で行われていたプラスチックの識別を、近赤外線を用いて吸収スペクトルの差により識別する機能、及び、従来手作業で分別していた廃棄物の分離・回収をエアジェットにより代替する機能の両方を具備する機械。	デジタル加飾とは、従来の印刷版を用いたり、スクリーン印刷や金型を使用せずUVインクジェットプリント技術を使用して、デジタルデータからダイレクトに紙等に印刷するスポットニスやデジタル箔の技術である。その技術を応用した印刷機がデジタル加飾機である。 人手を極力排して、短時間で多品種を仕上げることが可能となる。
対象業種	印刷・同関連業	印刷・同関連業	製造業	製造業、廃棄物処理業、卸売業	製造業
対象業務領域	印刷	印刷	加工・生産	分別業務	加工・生産
置き換え対象となる機能・性能	―	―	―	―	―
審査担当工業会名	一般社団法人日本印刷産業機械工業会	一般社団法人日本印刷産業機械工業会	一般社団法人日本印刷産業機械工業会	一般社団法人日本産業機械工業会	一般社団法人日本印刷産業機械工業会
連絡先(Mail)	shoryokuka@jpma-net.or.jp	shoryokuka@jpma-net.or.jp	shoryokuka@jpma-net.or.jp	zeisei-kankyo@jsim.or.jp	shoryokuka@jpma-net.or.jp

製品カテゴリ名	印刷紙面検査装置	鋳物用自動バリ取り装置	自動調色システム	蛍光Ｘ線膜厚測定器	自動裁断機
製品カテゴリ定義	印刷会社において、納品物である印刷物の品質要求は高く、発注者要求として、検査要件がある。抜き取り検査と全品検査があるが、検査作業は印刷された製品を目視検品しなければならない。この検査作業を自動的に行う装置が印刷検査装置である。検査作業は非常に長い時間、神経を使い、目を酷使し、精神的にも肉体的にも負担の大きい労働である。このような作業を行う社員の確保は難しく、印刷会社の収益率を圧迫するものである。印刷紙面検査装置はこのような作業を省力化し、作業負荷が大幅に低減されるだけではなく社員の定着や生産性の向上に寄与するものである。	鋳造工程で発生する鋳物の突出部や製品に不要な部分（バリ）の除去等の作業を行うための自動化設備	自動車等のボディーの色を自動で計測し、その色の配合を自動で算出するシステム	本測定器は、基材（金属、プラスチック、セラミックス等）の表面に被覆された金属の付着量を測定するもので、検体に一次Ｘ線を照射して発生した毛金属に固有の波長を有する蛍光Ｘ線の強度を測定することにより、予め作成された検量線と照合させることにより、物質の量（付着量）を求めるものである。測定器は、一次Ｘ線発生装置、蛍光X線検出装置、測定試料の設置部、検出強度を検量線により膜厚あるいは付着量に換算する演算部（外付け電子計算機の場合もある）からなる。 本カテゴリは経済産業省生産動態統計調査の調査品目表記載の「その他のX線装置」に含まれる。 調査票番号 2380 /品目番号 0122/調査票名 機械器具月報（その３８）電気計測器及び電子応用装置 /項目名 製品/品目名 その他のＸ線装置	衣服や皮革等の製造時においては、アパレルCADから得た設計情報を基に、延反工程、裁断工程、縫製工程、検査工程を経て製品化される。今回カテゴリー対象とするのは、縫製工程前作業として、生地を設計されたピース状のパーツに裁断する作業を自動化する機器（延反機能付きも含む）を対象とする。例えば、アパレル企業等から縫製仕様書及びパターンデータを受けた縫製工場は、その衣料製品製造に際し、①原反からその製造製品数に応じて原反寸法を採する。②採寸された生地から延反機等を通し、③-1積層した生地の上面に、マーカー用紙を乗せてセットし、③-2自動裁断機を経て衣料製品を構成するパーツに生地を裁断する。④裁断されたピースは、製品を構成する単位にまとめ、縫製工程へ送られ、各種工業用ミシンにより衣料製品となる。 注1：延反機（（生地をまっすぐに伸ばしつつ、裁断するために生地を重ねたりする機器）） 注2：マーカー用紙（裁断ピース形状と同型の紙、裁断後バラバラとなる縫製ピースの目印として使用）
対象業種	製造業	製造業	サービス業（他に分類されないもの）、小売業	製造業	製造業
対象業務領域	検査	加工・生産	アフターサービス	検査	加工・生産
置き換え対象となる機能・性能	―	―	―	―	―
審査担当工業会名	一般社団法人日本印刷産業機械工業会	一般社団法人日本鋳造協会	一般社団法人日本塗料工業会	一般社団法人日本表面処理機材工業会	一般社団法人日本縫製機械工業会
連絡先(Mail)	shoryokuka@jpma-net.or.jp	shoryokuka@foundry.jp	jpma5@toryo.or.jp	shoryokuka@kizaikou.or.jp	info@jasma.or.jp

製品カテゴリ名	原材料自動計量混合搬送装置	産業用枚葉デジタル印刷機			
製品カテゴリ定義	プラスチック製品製造工場において、成形材料（ペレット）に着色材ならびに添加剤を加える際に、自動で規定の配合比率にあわせ混合し、成形機まで自動搬送するシステム。	アナログ印刷は紙面データからCMYK/4色ごとに「版」を作成し、その版を印刷機等に取り付けて、使用することで用紙に絵柄が印刷されていく印刷方式である。 一方、デジタル印刷は「版」を必要とせず、印刷データから用紙に直接印刷する印刷方式となる。従来の印刷に必要な製版や刷版という工程が不要となるため、短期間で多品種の印刷物を仕上げることが可能となる。 方式としてはコピー機で良く知られるトナーやインクジェット等の印刷方式がある。			
対象業種	製造業	印刷・同関連業			
対象業務領域	加工・生産	印刷			
置き換え対象となる機能・性能	―	―	―	―	―
審査担当工業会名	一般社団法人日本プラスチック機械工業会	一般社団法人日本印刷産業機械工業会			
連絡先(Mail)	office_jpm@ipfjapan.jp	shoryokuka@jpma-net.or.jp			